

平成22年度

FD 活動報告書（個人）

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 長戸 喜隆

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度 中国・四国工学教育協会高専教育部会教員研究集会にて「発表番号4. 徳山高専学生相談室の取り組み」として事例発表
関連部署	学生相談室
実施年月日	平成22年11月26日（金）
実施場所等	ピュアリティまきび（岡山市）
参加対象・参加人数等	各高専で学生支援を実践している者、中電などの企業人事担当者など（約30名）
具体的内容（概略）	本校学生相談室の1年間の実践内容を発表した。主催者からは、特に年度初めに留年生へ送っている励ましの手紙の実践、新入生アンケート、そしてアンケート結果による面談の勧誘の手紙により、年度当初の孤独感や不安を和らげる実践について具体的に述べるよう要請された。中電の採用担当者から、高卒の新入社員が入社後すぐに不安定になって、退社した実例が報告され、原因は人それぞれあるが、年度当初の新入生には手厚い配慮が必要なことが確認された。

活動名・研修会名など	「第7回全国国立高等専門学校メンタルヘルス研究集会」出席
関連部署	学生相談室
実施年月日	平成23年1月27・28日
実施場所等	東京オリンピック記念青少年総合センター
参加対象・参加人数等	学生相談担当教職員、看護師、新任校長ほか
具体的内容（概略）	全体会では、発達障害（高専での特別支援教育）に関する講演を聞いた。分科会は5分会に分かれていた。第一分科会「学生相談事例」、第二分科会「保健室におけるメンタルヘルス業務のあり方」（看護師）、第三分科会「メンタルヘルス業務の技法（実践例）」、第四分科会「学生相談室と学内の協力体制、及び保護者を含む外部との連携」、第五分科会「発達障害の学生への支援」長戸は第三分科会に参加し、基本的なカウンセリング手法を実習した。

活動名・ 研修会名など	学内 FD 講演「若者ところの病」(吹田恭子医師) 聴講
関連部署	学生相談室
実施年月日	平成23年3月1日
実施場所等	徳山工業高等専門学校メディアホール
参加対象・ 参加人数等	徳山工業高等専門学校教職員
具体的内容 (概略)	高専生の年代(10代後半~二十歳過ぎ)までの若者が陥りやすいところの不調、またはかかりやすいところの病を具体例を交えて話された。プライバシーの問題があり、あまり立ち入った病状や治療効果などについてはやや具体性が欠けた。講演後質疑応答が行われた。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名：                      天内 和人

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度 第一回 「全国就職指導ガイダンス」
関連部署	専攻科
実施年月日	平成22年6月10日（木）
実施場所等	東京、東京ビックサイト
参加対象・参加人数等	大学、短期大学、高等専門学校就職指導担当者
具体的内容（概略）	就職・採用に関し、適正な就職・採用活動について周知・徹底するとともに、学校側、企業側の双方が一堂に介して情報交換をおこなう。専攻科修了生に対する、就職時の取り扱いに関して調査し、就職指導の充実に資することを目的とする。

活動名・研修会名など	平成21年度「海外インターンシッププログラム」報告会
関連部署	専攻科
実施年月日	平成22年7月12日（月）
実施場所等	東京、三井物産（株）本店
参加対象・参加人数等	機構「海外インターンシップ」受入企業および受入企業候補、インターンシップ参加学生および教員
具体的内容（概略）	「海外インターンシップ」受け入れ企業6社および三井物産に対し、派遣者から研修成果の報告を行い、本プログラムの改善、充実に図り、今後の受入企業拡大、三井物産と高専機構の協力関係の強化を図る。次年度以降、引き続き本校専攻科生を参加させるため、実施状況を調査する。

活動名・研修会名など	「工学（融合複合・新領域）関連分野」審査講習会
関連部署	専攻科

実施年月日	平成22年7月24日(土)
実施場所等	芝浦工業大学豊洲キャンパス
参加対象・参加人数等	日本工学教育協会会員
具体的内容(概略)	日本工学教育協会による「工学(融合複合・新領域)関連分野」の教育プログラム認定審査にあたる審査員養成のための講習会

活動名・研修会名など	「学位授与制度」説明会
関連部署	専攻科
実施年月日	平成22年8月7日(土)午後13時30分～
実施場所等	徳山工業高等専門学校3F演習室
参加対象・参加人数等	徳山工業高等専門学校専攻科担当教員
具体的内容(概略)	平成22年度の学位申請に向け、専攻科担当教員に学位授与制度の概要および、専攻科2年生への指導のため「学修成果」の考え方をパワーポイントを用いて説明した。質疑応答により、専攻科2年生の状況等を説明した。

活動名・研修会名など	日本工学教育協会 第58回年次大会 「工学教育の国際化」
関連部署	
実施年月日	平成22年8月20日～22日
実施場所等	東北大学川内キャンパス
参加対象・参加人数等	日本工学教育協会会員
具体的内容(概略)	第58回工学教育協会年次大会にて、「エンジニアリング・デザイン教育の課題と方法」というタイトルで論文を発表した。

活動名・ 研修会名など	平成22年度高等専門学校・長岡技術科学大学教員交流研究集会（生物系）
関連部署	
実施年月日	平成22年8月25日～26日
実施場所等	長岡技術科学大学 生物棟4階第1会議室
参加対象・ 参加人数等	生物系高等専門学校および長岡技術科学大学教員
具体的内容 (概略)	長岡技術科学大学教員との交流、特に研究を通じた連携の促進のため、長岡技術科学大学からの依頼により、研究内容および学校（専攻科）紹介を集会にて発表した。

活動名・ 研修会名など	平成22年度全国高専教育フォーラム
関連部署	
実施年月日	長岡技術科学大学
実施場所等	平成22年8月26日～28日
参加対象・ 参加人数等	高等専門学校教職員
具体的内容 (概略)	教育研究集会にて、「複合技術商品を導入したものづくり教育プランの構築」と題して研究発表。

活動名・ 研修会名など	PBL ワークショップ（研究授業）
関連部署	エンジニアリング・デザイン教育プログラム検討 WG
実施年月日	平成22年9月30日（木）
実施場所等	鹿児島高専（専攻科棟）
参加対象・ 参加人数等	高専教員
具体的内容 (概略)	リパブリック・ポリテクニク（シンガポール）の Glen O'Grady 氏による PBL 教育の模擬授業に参加

活動名・ 研修会名など	平成22年度日本生物教育学会
関連部署	
実施年月日	平成23年1月8日～9日
実施場所等	埼玉大学
参加対象・ 参加人数等	日本生物教育学会会員
具体的内容 (概略)	第90回全国大会に参加

活動名・ 研修会名など	平成22年度全国高専フォーラム
関連部署	
実施年月日	平成23年1月23日
実施場所等	米子コンベンションセンター
参加対象・ 参加人数等	工業高等専門学校生、教職員、大学教職員、企業研究者
具体的内容 (概略)	全国の高専生、教職員、大学教職員、企業研究者による研究発表会に、特別研究を担当する専攻科生2名とともに参加

活動名・ 研修会名など	日本工学教育協会ワークショップ
関連部署	専攻科
実施年月日	平成23年3月5日
実施場所等	芝浦工業大学芝浦キャンパス
参加対象・ 参加人数等	日本工学教育協会会員
具体的内容 (概略)	第5回ワークショップ「エンジニアリング・デザイン教育」-国際的に通用するエンジニアリング・デザイン教育を目指して-に参加

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 高橋 愛

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク 中国ブロック例会 (講演会「大学のハラスメント対策と法的責任」)
関連部署	ハラスメント防止委員会
実施年月日	平成22年6月29日
実施場所等	広島大学理学部（東広島キャンパス）
参加対象・参加人数等	大学等のハラスメント防止部門担当者
具体的内容 (概略)	過去の事例から、大学におけるハラスメント対策と事後対応について講義を受けた。

活動名・研修会名など	キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク 第16回全国集会
関連部署	ハラスメント防止委員会
実施年月日	平成22年8月20日
実施場所等	椋山女学園大学 星が丘キャンパス
参加対象・参加人数等	大学等のハラスメント防止部門担当者
具体的内容 (概略)	1. 相談員研修 2. シンポジウム「セクシュアル・ハラスメントとキャンパスの中の人権」

活動名・研修会名など	平成22年度英語科中・高連絡協議会
関連部署	英語科



実施年月日	平成 22 年 8 月 1 0 日
実施場所等	南陽工業高校図書室
参加対象・ 参加人数等	周南市中・高英語科教員
具体的内容 (概略)	1. ALT による講演 2. 教科指導についての情報交換

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 前 川 直 也

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度第1回徳山地区8高等学校生徒指導連絡協議会
関連部署	
実施年月日	平成22年4月19日（月）13:30～
実施場所等	山口県立徳山商工高等学校
参加対象・参加人数等	南陽工業高等学校、徳山北高等学校、桜ヶ丘高等学校、徳山高等学校、徳山高等学校鹿野分校、新南陽高等学校、徳山工業高等専門学校、熊毛北高等学校、徳山商工高等学校
具体的内容（概略）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会挨拶 山口県立徳山商工高等学村中一雄校長より開会のご挨拶があった。</li> <li>2 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成22年度事業計画について</li> <li>(2) 中・高生徒指導連絡会（中学校訪問）について</li> <li>(3) 情報交換 参加各高校より現状に関する報告があり、情報交換を行った。</li> </ol> </li> </ol>

研修会名など	平成22年度徳山地区高等学校生徒指導連絡協議会総会ならびに研究協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成22年6月24日（木）13時30分～16時
実施場所等	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターカルチャールームおよび会議室
参加対象	徳山地区高等学校の校長、生徒指導担当教員およびPTA会長
具体的内容（概略）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会挨拶 山口県立光丘高等学校長・田中博文氏より挨拶があった。</li> <li>2 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成21年度事業報告について、承認された。</li> <li>(2) 平成21年度決算報告について、承認された。</li> <li>(3) 平成22年度事業計画（案）について、説明され、承認された。</li> <li>(4) 平成22年度予算（案）について、説明がなされ、承認された。</li> </ol> </li> <li>3. 情報交換および研究協議会 生徒指導について情報交換が行われた。</li> <li>4. 閉会行事 副会長、山口県立徳山北高等学校 江村順子氏より閉会のあいさつがあった。 学校は、「我慢」と「辛抱」を教えるところ。前者はわがままをおさえること、後者はつらいことから逃げないこと。</li> </ol>

研修会名など	平成 22 年度徳山地区高等学校等生徒指導連絡協議会研修会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 22 年 12 月 3 日（金）13:30～16:00
実施場所等	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター カルチャールーム
参加対象	各校生徒指導担当教員（本校からは佐賀学生主事、前川学生主事補が出席）
具体的内容 （概略）	<p>1. 開会行事 県立光丘高等学校田中博文校長よりあいさつがあった。</p> <p>2. 講演「あきらめない」周南市教育委員会教育長 坂本昌穂氏 教員生活のなかで成功した体験、失敗した体験を話されたなかで、教育するにあたり「3つの『きょうかん』が重要である」と説明された。これらは、「共汗（ともに汗を流す）、共歓（ともによろこぶ）、共感（ともに感じることができる）」の3つである。「子供に波長をあわせ、子供の気持ちがわかること」と「大人の視点で話ができること」が大切であると説明が加えられた。また、リーダーの条件に「生き生きとしていること」「ビジョンをもっている（短期的、長期的）」の2つをあげられた。最後に、「本当の愛情を注げば、いつかきっと子供はわかる」と締めくくられた。</p> <p>3. 関係機関との情報交換 生徒指導について情報交換が行われた。</p> <p>4. 閉会行事 山口県立徳山北高等学校江村順子校長の挨拶の中で、人を育てる3つの条件として、「教えないこと」、「待つこと」、「考えさせること」の3つを挙げられていることを説明された。</p>

研修会名など	平成 22 年度愛育会理事会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 22 年 12 月 8 日（水）14 時 00 分～16 時 30 分
実施場所等	山口県立徳山商工高等学校会議室
参加対象	生徒指導担当教員（本校からは前川学生主事補）
具体的内容 （概略）	<p>1. 開会挨拶 林会長、会長校校長村中校長の2名の挨拶がなされた。</p> <p>2. 講演 臨床心理士 若松ゆかり氏 「子どもたちのコミュニケーションの特徴と理解」～携帯ネット世代の思春期～ 現在の児童・生徒の悩みに携帯電話・ネットが関わっていることがすべてといっても過言ではないと話された。2008年のデータでは携帯電話の所持率は、高校生が96%、中学生56%、小学生23%である。ブログやホームページを開設しているのは当たり前で、開設していないと人間関係にも影響を及ぼすとのことである。開設にも、個人で開設しているだけでなく、友達同士、カップル同士、グループでと多様化している。こうしたブログやホームページは24時間常時接続状態で、圏外であると「取り残され、孤立」といった恐怖と気疲れで悩んでいる生徒が多いとのこと。</p> <p>ネット・ケータイでのコミュニケーションの怖さ・依存の怖さについて説明がなされ、匿名である故に、怒り、攻撃、恨み等の負のパワーがさく裂し、攻撃された方（被害）には甚大な心の傷が残る。しかし、「呪い」にかけられた状態に近く、抜け出すことが困難である。こうした場合、ネット依存について注意するのではなく、そういう状態になった背景を明確にしなければ、この問題についての解決はできないとのことである。それには、自分の本当の心と向き合いづらい状態がつづいていることが要因の一つである。</p> <p>大人としてできることとして、子どもひとりひとりがかけがえのない存在であ</p>

	<p>ること、それを関わりの中でどう実感させていくか、子どもの表現、アンテナを張っていることに気づく(ちゃんとみてもらっているか)、変化を見逃さないことが重要であると説明された。</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 関係諸機関との情報交換 生徒指導について情報交換が行われた。</p> <p>(2) 生徒指導の取り組みまたは学校紹介 中学校、高校から生徒指導の取り組みについての説明があった。</p> <p>4. 閉会行事 開会行事と同様、林会長、村中校長が挨拶をし、閉会した。</p>
--	---

研修会名など	平成 22 年度第 3 回徳山地区 8 高等学校生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 23 年 2 月 2 日 (水) 13:30~16:00
実施場所等	山口県立徳山商工高等学校会議室
参加対象	生徒指導担当教員(本校からは前川学生主事補)
具体的内容 (概略)	<p>1. 開会行事 当番校である山口県立徳山商工高等学校村中一雄校長より挨拶があり、指導助言者の周南警察署少年係長三宅俊晴氏の紹介があった。</p> <p>2. 協議事項 生徒指導について情報交換が行われた。</p>

研修会名など	学生等の薬物乱用防止のための教職員研修会—九州・沖縄地区—
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 23 年 2 月 28 日 (月) 11:00~17:00
実施場所等	KKR ホテル博多
参加対象	学生指導関係部署
具体的内容 (概略)	<p>1. 開会式</p> <p>2. 講演①「青少年による薬物乱用の現状と文部科学省の取り組みについて」文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育調査官 北垣邦彦 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生のファッション感覚による薬物乱用の増加</li> <li>・政府は薬物乱用防止の成果が上がっていると認識している。ただ、検挙数だけで判断するのは氷山の一角にしかすぎず、今後は多面的にとらえた意識調査が必要となる。</li> <li>・20代の文化はすぐに10台に波及する。薬物乱用の年齢構成比率は20代が高い。</li> <li>・繰り返し、繰り返しの啓発活動が重要である。</li> </ul> <p>3. 講演②「薬物乱用が心身に及ぼす影響とその害」国立病院機構肥前精神医療センターアルコール・薬物診療グループ長 武藤岳夫 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物は自分らしさを変えてしまう病気</li> <li>・自殺と精神疾患との関係で、1位が気分障害(30%)、2位が物質関連障害(アルコール・薬物等)(18%)であり、薬物依存は自殺の危険因子である認識をもつことが重要である。</li> <li>・依存症については、メンタルヘルスとして考えていくべきであろう。</li> </ul> <p>4. 事例紹介①鹿児島大学保健管理センター保健師 水迫久美 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の意識付けをするために保健管理室の入口の前に薬物に関する掲示物などを展示している。</li> <li>・アンケート調査による報告は資料のとおり</li> </ul>

	<p>5. 事例紹介②九州産業大学学生部学生課 加藤康雄 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が一体となって注意喚起を行うことが大切</li> <li>・夜回り先生と称される水谷修氏の講演で、薬物は愛や愛情では防ぐことはできない。警察に通報する勇気が必要である。専門機関にお願いしなければ防ぐことはできない。</li> </ul> <p>6. ビデオ上映 薬物乱用防止教育ビデオ「なくした自由—一度の好奇心から始まる一生の闘い」</p> <p>7. 分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の意識の低さは否めない。 「見た人が注意してくれたら学生も見られているという意識が働くのではないか」、「教員に対して研修はするが、職員にはしていない。教職員一体となることが重要」</li> <li>・警察との定期的な情報連絡会</li> <li>・学生が学生のための啓発活動…学生が自主的に学生に注意喚起する、呼びかけ</li> </ul>
--	---

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 森野 数博

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度全国高専教育フォーラムにて平成21年度教員顕彰受賞者講演
関連部署	依頼講演
実施年月日	平成22年8月28日（土）
実施場所等	長岡技術科学大学
参加対象・参加人数等	全国の高専、技科大関係者など 約200名
具体的内容 （概略）	<p>今年度から、高専教育に関連する講演会や研究会、会議等を同一会場において合同で行うことになり、その一環として、教員顕彰受賞者講演も行われることになった。平成21年度に文部科学大臣賞を受賞したことから受賞者講演の依頼があり、次の顕彰題目で講演を行った。</p> <p>「複合教育によるものづくり技術者育成の推進」</p> <p>同一会場で多くの企画を行ったこともあり、最終日のイベントとして企画されたこの受賞者講演も大きな会場がほぼ埋まるほどの盛況で、関心の高さが窺われた。講演は8名により行われたが、教員顕彰された方々の講演だけに、いずれも内容は充実しており、聞き応えがあり、参考になる点も多くあった。私の講演に対しても多くの方々から共感したとの言葉をいただき、特に主催関係者から、これで次年度以降の企画の目処が立ったと感謝されるなど当初の目的に十分応えることができたようで、満足のいくFD活動となった。</p> <p>■ 資料：有</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 伊藤 尚

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	JICAプロジェクト「トルコ自動制御技術教育普及計画」 最終報告会
関連部署	高専機構 国際委員会国際協力専門部会
実施年月日	H22年10月8日（金）
実施場所等	キャンパス・イノベーションセンター5F リエゾンコーナー508
参加対象・参加人数等	国際委員会国際協力専門部会員 H19-22 JICAプロジェクト派遣専門家など 約20名
具体的内容（概略）	4年間にわたり繰り広げられた、高専機構からのJICAプロジェクトのトルコ自動制御教育専門家派遣業務についての総括が行われ、今後の対応や課題についても議論された。

活動名・研修会名など	JICAプロジェクト「トルコ自動制御技術教育普及計画」 説明会
関連部署	高専機構 国際委員会国際協力専門部会
実施年月日	H22年2月8日（月）
実施場所等	キャンパス・イノベーションセンター5F リエゾンコーナー509
参加対象・参加人数等	国際委員会国際協力専門部会員 H22 JICAプロジェクト派遣専門家など 約10名
具体的内容（概略）	これまでの4年間にわたり繰り広げられた、高専機構からのJICAプロジェクトのトルコ自動制御教育専門家派遣業務についての説明会。今年度派遣に関して、以下の説明が行われ、今後の対応や課題についても議論された。 ・経緯，概要 ・進捗状況 ・業務内容 ・その他（生活面等）

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 櫻本 逸男

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	SPP 関連出前授業（ロボットに関する講義） （徳山小学校5、6年生）
関連部署	機械電気工学科 ロボコン委員会
実施年月日	平成22年7月9日
実施場所等	周南市立徳山小学校体育館
参加対象・ 参加人数等	徳山小5、6年生の約230名、徳山小校長、教員計9名、 本校教職員3名、学生3名
具体的内容 （概略）	徳山小学校と徳山高専とのSPP（サイエンスパートナーシッププロジェクト）の一環として、徳山小学校体育館において、5、6年生（約200名）に対して出前授業を実施した。ロボットについての講義およびNHKロボコンで製作したロボットのデモンストレーションを実施した。 理科離れが懸念されている中で、このような教育に理解を示す徳山小学校との連携により、小学生に対して効果的な授業をすることができた。

活動名・ 研修会名など	SPP 関連出前授業（ロボット制作教室） （徳山小学校5年生4クラス）
関連部署	機械電気工学科 ロボコン委員会
実施年月日	平成22年9月9日～10日
実施場所等	周南市立徳山小学校理科教室
参加対象・ 参加人数等	徳山小5年生の約134名、徳山小校長、教員計6名、 本校教職員4名、学生10名
具体的内容 （概略）	徳山小学校と徳山高専とのSPP（サイエンスパートナーシッププロジェクト）の一環として、徳山小学校理科教室において、5年生（約134名）に対して出前授業を実施した。ロボットの制作教室を実施した。 理科離れが懸念されている中で、このような教育に理解を示す徳山小学校との連携により、小学生に対して効果的な授業をすることができた。また、小学生を指導した高専生にも効果があった。



活動名・ 研修会名など	周南ロボコン関連ロボット製作教室
関連部署	機械電気工学科 ロボコン委員会 学生会
実施年月日	平成22年8月28～29日
実施場所等	徳山高専テクノセンター
参加対象・ 参加人数等	一般小中学生（62名）およびその保護者
具体的内容 （概略）	周南ロボコンに出場するロボットの製作教室を実施した。

活動名・ 研修会名など	周南ロボコン関連ロボット製作教室
関連部署	機械電気工学科 ロボコン委員会 学生会
実施年月日	平成22年9月5日
実施場所等	新南陽ふれあいセンター
参加対象・ 参加人数等	一般小中学生（17名）およびその保護者、職員など
具体的内容 （概略）	周南ロボコンに出場するロボットの製作教室を実施した。

活動名・ 研修会名など	周南ロボコン
関連部署	機械電気工学科 ロボコン委員会 学生会
実施年月日	平成22年10月30日
実施場所等	徳山高専第2体育館
参加対象・ 参加人数等	小中高一般（87名）およびその保護者など 本校教職員、学生多数
具体的内容 （概略）	周南市教育委員会と徳山高専の共催による市民参加型のロボットコンテスト（周南ロボコン）を開催した。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 小田 和広

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	日本機械学会関西支部 第310回講習会 「熱応力による変形・破壊の評価方法と対策事例」
関連部署	
実施年月日	平成22年10月21日～22日
実施場所等	大阪科学技術センター 8階中ホール
参加対象・ 参加人数等	高等教育機関，企業の研究者，技術者および学生・100名程度
具体的内容 (概略)	<p>2日間にわたって，次の講義が実施された。</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱応力問題の解析方法（大阪府立大 大多尾義弘）</li> <li>・ 高温疲労・熱疲労寿命とその予測方法（長岡技科大 岡崎正和）</li> <li>・ 実構造物の溶接変形予測を目的とした解析法（大阪大 村川英一）</li> <li>・ 高温機器の熱応力による損傷評価の実例（川崎重工 今井達也）</li> </ul> <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高温機器のクリープ・疲労寿命評価手法（三菱重工 伊達新吾）</li> <li>・ 電機・電子機器の熱応力問題（三菱電機 田宮洋一）</li> <li>・ 電子部品の熱応力解析と信頼性評価（NEC情報システムズ 大川清一郎）</li> <li>・ 自動車用排気系部品の熱疲労評価方法（本田技研 石井和夫）</li> <li>・ 熱プロセスの変形・残留応力解析（伊藤忠テクノ 田村茂之）</li> <li>・ 建築構造物の火災安全設計と熱応力（大成建設 道越真太郎）</li> </ul> <p>卒業研究指導に必要な基礎的な知識ならびに企業での活用事例を知ることが出来，大変有意義であった。</p> <p>■ 資料：有</p>

活動名・ 研修会名など	日本機械学会東海支部 第113回講習会 「科学英語によるプレゼンテーションの実践」
関連部署	
実施年月日	平成22年10月29日
実施場所等	名古屋工業大学 講堂会議室
参加対象・ 参加人数等	高等教育機関，企業の研究者，技術者および学生・90名程度
具体的内容 (概略)	<p>次の講義が実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演スライドの作り方 (中京大 遠藤 守)</li> <li>・ 科学講演における効果的な英文表現 (名古屋大学 エドワード・ヘイグ)</li> <li>・ E-mailによる効果的なコミュニケーション (椋山女学園大 S.E.クアシャ)</li> </ul> <p>専攻英語講読や特別研究指導で必要な英語表現の基礎的な知識を知ることが出来，大変有意義であった。</p> <p>■ 資料：有</p>

活動名・ 研修会名など	第3回 高専における設計教育高度化のための産学連携ワークショップ
関連部署	
実施年月日	平成22年12月11～12日
実施場所等	長野工業高等専門学校
参加対象・ 参加人数等	高専の教員および学生・90名程度
具体的内容 (概略)	<p>[A] 設計教育高度化ワークショップ</p> <p>(1) 高専における設計教育の現状と将来展望 発表：8地区の代表高専</p> <p>(2) 特別講演 I 発表高専：徳山工業高等専門学校 特別講演 II 「企業から見た機械系設計技術者に必要なスキル」 発表企業：関東自動車工業株式会社</p> <p>(3) パネルディスカッション「高専の機械系設計教育に望むこと」 パネリスト： 企業・技科大・高専</p> <p>[B] 学生の「3次元デジタル設計造形コンテスト」 課題：ビーズ・ポンプ 機械設計教育の高度化のためのワークショップおよび学生による設計コンテストが開催された。各高専の教育改善の状況を把握でき，大変有意義であった。</p> <p>■ 資料：有</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 張間 貴史

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度独立行政法人国立高等専門学校機構高等専門学校教員研修（クラス運営・生活指導研修会）
関連部署	
実施年月日	平成22年8月30日（月）～9月1日（水）
実施場所等	独立行政法人教員研修センター
参加対象・参加人数等	各高等専門学校から推薦されたクラス運営の中心的役割を担う教員・93名
具体的内容 （概略）	<p>3日間の研修内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義1「生活指導上のリスクマネジメント」 ※生徒等への対応に当たっての危機管理について理解する。</li> <li>・講義2「技術者教育の到達目標」 ※高専を取り巻く環境の動向、質の保証、人間力、クラス経営、生活指導等</li> <li>・講義3「クラス運営・生活指導の基礎」 ※16歳、5年一貫、担任、クラス経営、生活指導、教職員連携、学校の指導体制、キャリア教育、職業教育等</li> <li>・講義4「クラス経営と学生理解」 ※円滑なクラス経営のための学生のか抱える様々な課題及びその心理を踏まえた学生への対応の在り方を学ぶ。</li> <li>・演習「クラス経営・生活指導等のワークショップⅠ」 ※班（6名まで）で議論、テーマは学生の意欲向上、学習指導、生活指導、人間力の向上等</li> <li>・演習「クラス経営・生活指導等のワークショップⅡ」 ※発表</li> <li>・パネルディスカッション「高専生への学生カウンセリング」</li> <li>・講義5「青年心理・学生指導」</li> <li>・講義6「スクールコンプライアンス」 ※生活指導に必要な教育法規についての基本的な事項及び判例等により具体的な対応策について学ぶ。</li> </ul> <p>現在の教育機関が抱える共通の問題について、行政、法規、学生の資質など多面的なアプローチで解説され、学生指導には専門的な知識が必要であるととともに、全教員にその意識が必要であると実感した。</p> <p>資料あり</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 北村 健太郎

平成21年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度 第1回愛育会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成22年7月14日（水） 14:00-
実施場所等	総合庁舎 7階 703 会議室
参加対象・参加人数等	徳山地区の小中高の校長および生徒指導担当教員（20名程度）
具体的内容（概略）	<p>徳山地区の小中高の校長および生徒指導担当教員によって、地域の生徒・学生の厚生補導に関わる現状の報告や、各学校・機関での取り組み等の情報交換を行った。これらの情報を地域で共有することによって、本校での学生指導の指針に生かすことができる。具体的な内容に関しては、以下の通りである。</p> <p>平成21年度事業報告・決算報告 別紙の通り、承認された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業系各区案・及び予算案 別紙の通り承認された。</li> <li>関係機関との情報交換 下記の、機関から青少年の現状に関する報告があった。 <ol style="list-style-type: none"> <li>周南市警察</li> <li>周南市子供家庭課</li> <li>周南市教育委員会学校教育課</li> <li>周南市教育委員会少年安全サポーター</li> <li>徳山地区保護司会</li> <li>しゅうなん若者サポートステーション</li> </ol> </li> <li>グループ討論 小・中・高が地区ごとにグループに分かれ、テーマを決めずにフリーディスカッションが行われた。</li> </ol>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 池田 信彦

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	日本学術会議 情報学委員会 情報学シンポジウム
関連部署	
実施年月日	平成23年3月5日
実施場所等	日本学術会議 講堂
参加対象・ 参加人数等	日本全国科学者研究者等 約200名が参加
具体的内容 (概略)	<p>VISION, MISSION, PASSION と題して、これからの教育、研究についてのヒントとなる事例等の講演が5件あった。講演題目と講演者は次のとおり。</p> <p>I. 迫力のある教育と分野の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. On Building a World Class University: Challenges and Opportunities Prof. Mounir Hamdi (香港科技大学)</li> <li>2. Computer Science Theory to Support Research in the Information Age Prof. John Hopcroft (Cornell University)</li> </ol> <p>II. 迫力ある研究テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Democratizing Access to the Data Explosion with Cloud Computing Dr. Dannis Gannon (Microsoft Research)</li> <li>2. ICT パラダイムシフトに向けたイノベーション実証基盤のあり方 青山 友紀教授 (慶応大学)</li> </ol> <p>III. 迫力ある学生</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 光いずる珠—IT人材を見いだす「未踏ユース」 笥 棲彦教授 (早稲田大学)</li> </ol> <p>どの講演も目新しい興味深い話題ばかりであり、本校の教育を考える上で有意義なものであった。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 百田 正広

平成22年度に実施、あるいは参加された FD 活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	2010 年度第 2 回 JABEE 審査員研修会
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 8 月 28 日 ～ 平成 22 年 8 月 29 日
実施場所等	(財) 海外職業訓練協会 OVTA 〒261-0021 千葉県美浜区ひび野 1 丁目 1 番地
参加対象・ 参加人数等	2010 年度の新規・認定継続、並びに中間審査を担当する審査長および審査員を対象とし、原則として本年度初めて審査長または審査員になられる方々で各分野担当の各学協会から推薦された方々（約 80 名）
具体的内容 (概略)	1) 2010年度認定審査のための各研修科目についての解説と共通理解 2) 自己点検書事例を用いた認定審査時の問題点の把握（グループワーク方式による）  詳細は、別紙参照のこと。



## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 山田健仁

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	組込みソフトウェア先端技術講座
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年3月21, 22, 28, 29日
実施場所等	IE 研修室
参加対象・参加人数等	情報電子工学科教員(山田, 百田, 義永, 奥本, 守川, 重村, 新田, 高山, 杉村, 柳澤, 古賀, 力)
具体的内容(概略)	本校が九州大学と連携して行っている「高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業において、モデルベース設計を中心とした同技術分野の先端技術に関する教員向け講座を開き、講義・演習・議論を実施する。 (1) モデルベース駆動設計技術に関する講義・演習 (2) 組込みソフトウェア活用に関する事例紹介 (3) 他の教育機関における実施例の紹介

活動名・研修会名など	九州地区 ET ロボコン
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成22年9月5日
実施場所等	九州産業大学
参加対象・参加人数等	情報電子工学科教員(山田, 奥本)
具体的内容(概略)	「高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業の一環として、大学等での取組状況を視察した。

活動名・研修会名など	組込みシステムキーテクノロジーセミナー
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年1月7日
実施場所等	山口グランドホテル
参加対象・参加人数等	情報電子工学科教員(山田, 重村)
具体的内容(概略)	高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業の一環として、企業の取り組み状況などを知るため、セミナーに参加した。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 義永 常宏

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	組込みソフトウェア先端技術講座
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年3月28日
実施場所等	IE 研修室
参加対象・ 参加人数等	情報電子工学科教員( 義永, 奥本, 重村, 新田, 高山, 柳澤, 古賀)
具体的内容 (概略)	<p>本校が九州大学と連携して行っている「高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業において、教員対象にモデルベース設計を中心とした同技術分野の先端技術に関して議論した。</p> <p>(1) 組込みソフトウェア活用に関する事例紹介</p> <p>(2) 他の教育機関における実施例の紹介</p> <p>(3) 本校の実情と今後に向けての議論・提案</p>

活動名・ 研修会名など	平成22年度全国高専教育フォーラム・教育教員研究集会
関連部署	高専機構
実施年月日	平成22年8月27日～28日
実施場所等	長岡技術科学大学
参加対象・ 参加人数等	<p>全国高専教職員</p> <p>150名程度</p>
具体的内容 (概略)	<p>2日間にわたり以下が実施された。</p> <p>① 各高専の教育活動の実践報告</p> <p>② 長岡技科大新原学長講演</p> <p>③ 合同閉会式における表彰</p> <p>特に、①に関連して、“徳山高専における学習・教育レビュー室の活動（義永常宏、山田健仁、百田正広）”と題して、義永が代表で講演した。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 奥本 幸

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	2010年度IPA中小企業情報セキュリティセミナー 技術コース標準編Ⅰ、Ⅱ
関連部署	
実施年月日	平成23年2月17日
実施場所等	毎日西部会館
参加対象・参加人数等	中小企業等のセキュリティ担当者、システム管理者など・ 各70名
具体的内容 (概略)	技術コース標準編Ⅰが午前中に、Ⅱが午後実施され、IPA情報セキュリティ技術ラボラトリー研究員の園田氏が以下の内容について解説された。 ① 技術コース標準編Ⅰ 「2009年の10大脅威」を基に、最近の重大な情報セキュリティにおける脅威の動向と事例紹介、技術的対策のポイント ② 技術コース標準編Ⅱ ウェブアプリケーションのセキュリティ対策と、セキュリティ事故が発生した際の技術的調査および組織的対応方法 ■ 資料：有

活動名・研修会名など	ETロボコン2010九州大会
関連部署	
実施年月日	平成22年9月4日・5日
実施場所等	九州産業大学
参加対象・参加人数等	ETロボコン2010参加チームおよび観覧者
具体的内容 (概略)	2日間にわたって、次の行事が実施された。 ① ロボコン試走会および競技大会 ② ワークショップ ロボコン実行委員から、ETロボコンにおける、モデル審査と技術教育について。 ③ コード品質評価WS 組み込みソフトウェアの総合品質として、設計品質、性能品質、コード品質が重要であること。 個人的に参加したが、初めてETロボコンをみることができ、有意義であった。モデリングについては、電子ファイルが公開されているとよいと感じた。 ■ 資料：有

活動名・ 研修会名など	情報処理学会中国支部アンドロイド講習会
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成 22 年 11 月 19 日
実施場所等	広島市立大学
参加対象・ 参加人数等	情報処理学会会員・ 約 20 名
具体的内容 (概略)	<p>モバイルデバイスのためのソフトウェア開発講座に参加した。PC上のエミュレータで、実際にプログラミングを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開発環境の構築</li> <li>2. Activity</li> <li>3. Intent</li> <li>4. セキュリティの話</li> </ol> <p>PCによる演習があったので、プログラミングの説明がとてもわかりやすかった。</p> <p>■ 資料：有</p>

活動名・ 研修会名など	産業界と連携した高品質組込みソフトウェア技術者養成プロジェクト最終報告会
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成 23 年 3 月 18 日
実施場所等	KKR ホテル熊本
参加対象・ 参加人数等	組込みソフトウェア技術者の育成に関心のある人・ 約 100 名
具体的内容 (概略)	<p>九州技術教育専門学校において 2008 年度実施された高品質組込みソフトウェア技術者養成プロジェクトの最終報告がなされた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①21 世紀型スキルと MDD (信州大学工学部 香山瑞恵先生の講演)</li> <li>②プロジェクト成果報告 (九州技術教育専門学校 赤山副理事長)</li> <li>③MDD を用いた諸学者に対するソフトウェア開発教育 (九大 久住憲嗣先生)</li> <li>④調査・評価分科会の報告 (アフレル 渡辺登氏)</li> </ol> <p>いろいろな取組みをされており、MDD について興味がわいた。また、九州技術教育専門学校での実施状況がよくわかり、3月の徳山高専での研修会へつなげることができた。</p> <p>■ 資料：有</p>

活動名・ 研修会名など	「組込みネットワークシステムの技術動向」講演会
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成 23 年 2 月 26 日
実施場所等	メディアホール

参加対象・ 参加人数等	情報電子工学専攻科学生・教職員 約30名
具体的内容 (概略)	三菱電機情報技術総合研究所 部長楠和浩氏の講演に参加した。 内容は以下のとおりである。 1. ネットワークの基礎 2. 乗り物系と組み込みネットワーク 3. FA ネットワーク 4. FA 制御機器に対するセキュリティ 高専の学生がもっている知識をもとに、技術動向を話されていることに感心した。

活動名・ 研修会名など	組込みソフトウェア先端技術講座
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年3月21, 22, 28, 29日
実施場所等	IE 研修室
参加対象・ 参加人数等	情報電子工学科教職員と関連研究室の学・生 一日あたり10名～16名
具体的内容 (概略)	本校が九州大学と連携して行っている「高専-大学連携による組込みソフトウェア 関連技術教育の高度化」事業において、モデルベース設計を中心とした同技術分野の 先端技術に関する教員向け講座を開き、講義・演習・議論を実施する。 (1) モデルベース駆動設計技術に関する講義・演習 (2) 組込みソフトウェア活用に関する事例紹介 (3) 他の教育機関における実施例の紹介

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 小林明伸

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	平成22年度徳山地区高等学校等生徒指導連絡協議会 第2回生徒指導主任専門会議
関連部署	
実施年月日	平成22年10月7日（木）13時30分～
実施場所等	新南陽高等学校 会議室
参加対象・ 参加人数等	周南市内17高等学校生徒指導部教員24名
具体的内容 （概略）	周南市の高等学校の生徒指導部の教員が集い、あらかじめ協議議題として提出された議題について意見を交換し合った。また、各校が抱えている生徒指導上の問題についても意見が出された。また、共有情報などの提供もあった。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 重村 哲至

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

□所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	組込みソフトウェア先端技術講座
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年3月21, 22, 28, 29日
実施場所等	IE 研修室
参加対象・参加人数等	情報電子工学科教員(山田, 百田, 義永, 奥本, 守川, 重村, 新田, 高山, 杉村, 柳澤, 古賀, 力)
具体的内容(概略)	本校が九州大学と連携して行っている「高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業において開催された講座に参加した。講座の内容は以下のとおりであった。 (1) モデルベース駆動設計技術に関する講義・演習 (2) 組込みソフトウェア活用に関する事例紹介 (3) 他の教育機関における実施例の紹介

活動名・研修会名など	組込みシステム・キーテクノロジーセミナー 主催：(財)やまぐち産業振興財団他
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年1月7日
実施場所等	山口グランドホテル
参加対象・参加人数等	県内の企業・大学関係者等（100名程度）
具体的内容(概略)	「スバルの知能化と“ぶつからないクルマ？”アイサイト」 講師：富士重工業（株） スバル技術本部 技術開発部 主管 樋渡 穰 氏 スバルの乗用車で採用された、画像処理技術に基づき、自動的に停車する安全システムの開発に関する講演 「組込みシステムと機能安全」 講師：広島市立大学大学院情報科学研究科 教授 大場 充 氏 機能安全の考え方に関する講演 以上、二件の講演を聴講した。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名：                     高山泰博                    

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	平成22年度徳山高専新規採用等教職員オリエンテーション
関連部署	
実施年月日	平成22年4月27日
実施場所等	徳山高専大会議室
参加対象・ 参加人数等	平成21年6月以降に採用された教職員・11名
具体的内容 (概略)	<p>徳山高専の教職員として必要な心構えを自覚するとともに、業務遂行上の基礎知識及び認識すべき事項等を理解することを目的として、徳山高専の各部署長の講義を聴講した。これにより、学校運営に対する考え方を学ぶとともに、学校全体のシステムについて把握することができた。</p> <p>■ 資料：有</p>

活動名・ 研修会名など	平成22年度高等専門学校新任教員研修会
関連部署	
実施年月日	平成22年8月23日～25日
実施場所等	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加対象・ 参加人数等	平成21年6月以降に採用された教職員・186名
具体的内容 (概略)	<p>高専機構理事長ほかの講演の聴講、新規採用教員相互の班別協議（班テーマ：「学力に幅のあるクラスで効果的な授業をする工夫」）に参加することにより、他高専の新任教員とともに教員としての在り方に関する議論を行い、今後の自らの教員としての役割の参考に資することができた。</p> <p>■ 資料：有</p>



活動名・研修会名など	産業界と連携した高品質組込みソフトウェア技術者養成プロジェクト中間成果報告会
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成22年11月2日
実施場所等	KKRホテル熊本
参加対象・参加人数等	一般・約50名
具体的内容(概略)	<p>九州技術教育専門学校が九州大学と連携して実施しているプロジェクトの中間報告会に参加し、最新の技術教育動向を聴取した。同プロジェクトの実施内容を参考にして、さらに、同プロジェクトの指導にあられた九州大学の久住憲嗣准教授から助言をいただくことにより、平成23年度のソフトウェア工学のシラバスの改訂に資することができた。</p> <p>■ 資料あり</p>

活動名・研修会名など	九州組込みサミット
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成22年11月25日
実施場所等	ホテルニューオータニ熊本
参加対象・参加人数等	一般・約100名
具体的内容(概略)	<p>各地区の組込みソフトウェアに関する課題や戦略、保有する技術などについて情報を交換し、研究開発の連携や競争的資金の共同での獲得などを目指して話し合いを行った。この会議に参加することにより、九州各県、福岡市等の担当者から地域の産業の情報を得るとともに、熊本の九州技術教育専門学校(九州大学と連携して文部科学省予算で組込みソフトウェア教育事業を実施中)から、共同で資金獲得を行う準備を相談されるなどの成果を得た。</p> <p>■ 資料あり</p>

活動名・研修会名など	JaaSST ソフトウェアテストシンポジウム九州
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成22年11月26日
実施場所等	熊本市国際交流会館
参加対象・参加人数等	一般・約80名

具体的内容 (概略)	<p>「車の安全に貢献する動画像認識ソフトウェアの開発とその評価～動画像認識プロセッサ IMAPCAR の応用～」と題された基調講演により、産業界での組み込みソフトウェアのテストに関する最新動向を把握するとともに、宮崎大学の片山徹郎教授から技術動向を教示いただくことができた。片山教授には平成22年度に学生向けの特別講義を実施いただいた。</p> <p>■ 資料あり</p>
---------------	---

活動名・ 研修会名など	全クラス担任・主事室等指導連絡会
関連部署	
実施年月日	平成22年11月30日
実施場所等	徳山高専大会議室
参加対象・ 参加人数等	平成22年度クラス担任、3主事
具体的内容 (概略)	平成22年度における年度途中のクラス指導等における状況や問題点を共有し、今後の改善に向けての検討を行った。事前アンケートによる情報共有を行い、特に、SHR、年間行事予定、高専祭、学生指導（特に遊具類の扱い）に関して議論を行うことによって、後半のクラス運営の参考とすることができた。

活動名・ 研修会名など	新旧担任学生指導連絡会
関連部署	
実施年月日	平成23年3月24日
実施場所等	徳山高専大会議室
参加対象・ 参加人数等	平成22年度クラス担任、平成23年度クラス担任、3主事、教務主事補
具体的内容 (概略)	平成22年度全体を通じてのクラス運営や学生の現状と問題点、およびその改善方策に関する話し合いを通して担任としての役割や指導内容等に関する共通認識を得て、他クラス・他学年の現状が平成23年度のクラス運営にむけて参考となった。

活動名・ 研修会名など	組込みソフトウェア先端技術講座
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年3月21、22、28、29日
実施場所等	徳山高専 I E 研修室
参加対象・ 参加人数等	情報電子工学科 教職員・14名および学生4名
具体的内容 (概略)	<p>本校が九州大学と連携して行っている「高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業において、モデルベース設計を中心とした同技術分野の先端技術に関する教員向け講座を開き、講義・演習・議論を実施した。</p> <p>(1) モデルベース駆動設計技術に関する講義・演習</p> <p>(2) 組込みソフトウェア活用に関する事例紹介</p> <p>(3) 他の教育機関における実施例の紹介</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 杉村 敦彦

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	公開授業
関連部署	
実施年月日	平成22年7月22日（木）
実施場所等	徳山高専
参加対象・ 参加人数等	学生：46名（IE1）、教員：4名、教育モニター：2名
具体的内容 （概略）	「コンピュータの基礎知識」（IE1）の授業を公開で行った。事前に学生からアンケートを取り、情報電子工学科および他学科の教員と外部の教育モニターの方に授業を参観してもらい、その後レビュー会を行った。

活動名・ 研修会名など	組込みネットワーク講演会（H22 高専改革推進経費採択事業）
関連部署	
実施年月日	平成23年2月26日（土）
実施場所等	徳山高専 メディアホール
参加対象・ 参加人数等	企業技術者、専攻科生、学生（4，5年生）
具体的内容 （概略）	実際の組込みシステムのネットワーク(CC-Link/CC-Link IE)を例に、製造システムを支えるネットワークの役割や方式についての説明や、最近の技術動向についての紹介。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 柳澤秀明

平成22年度に実施、あるいは参加された FD 活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	エンベデッド・システム開発講習会
関連部署	
実施年月日	平成22年10月5日、6日
実施場所等	東京
参加対象・参加人数等	組込みシステム開発者 5人
具体的内容 (概略)	Xilinx の FPGA ボードを用いて組込みシステムを構築するための講習会。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトコアプロセッサの生成の仕方</li> <li>・ソフトウェアの開発方法</li> <li>・自作 IP とソフトコアプロセッサの接続方法</li> <li>・など</li> </ul>

活動名・研修会名など	エンベデッド・システム・ソフトウェア開発講習会
関連部署	
実施年月日	平成22年10月26日、27日
実施場所等	東京
参加対象・参加人数等	組込みシステム開発者 5人
具体的内容 (概略)	Xilinx の FPGA ボードを用いて組込みシステムを開発するための講習会。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェア環境の利用方法</li> <li>・FPGA へのダウンロード方法</li> <li>・ソフトウェアのデバッグ方法</li> <li>・デバッグのための信号観測方法</li> <li>・など</li> </ul>

活動名・ 研修会名など	九州組込みサミット
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 11 月 25 日
実施場所等	熊本
参加対象・ 参加人数等	組込みシステム開発者 5 人
具体的内容 (概略)	九州地区における組込み開発者が集まり、以下のような WS が開かれた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・組込み人材育成について考える</li> <li>・マーケティング&amp;ビジネス</li> <li>・農業などの第一産業と組込みシステム</li> <li>・医工連携</li> <li>・環境・エネルギーソリューション</li> <li>・アンドロイドと新プラットフォーム</li> </ul>

活動名・ 研修会名など	JaSST ソフトウェアテストシンポジウム 2010 九州
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 11 月 26 日
実施場所等	熊本
参加対象・ 参加人数等	組込みシステム開発・研究者、テスト
具体的内容 (概略)	組込みシステム開発、テスト方法などに関する講演・テスト方法の講習会。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサスにおける車載システム開発</li> <li>・テスト管理ツール TestLink の紹介</li> <li>・テスト手法の提案など</li> </ul>

活動名・ 研修会名など	Spartan6 FPGA ボード講習会
関連部署	
実施年月日	平成 23 年 1 月 18 日、19 日
実施場所等	東京
参加対象・ 参加人数等	組込みシステム開発者 5 人

具体的内容 (概略)	<p>Xilinx の FPGA ボードを効果的な利用するための講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーキテクチャの解説</li> <li>・メモリの利用方法</li> <li>・メモリインターフェースの自動生成</li> <li>・メモリインターフェースの活用方法</li> <li>・仮想入出力、信号観測方法・など</li> </ul>
---------------	--

活動名・ 研修会名など	組込みソフトウェア教育最終報告会
関連部署	
実施年月日	平成 23 年 3 月 18 日
実施場所等	熊本
参加対象・ 参加人数等	組込みシステム開発者 5 人
具体的内容 (概略)	<p>九州技術教育専門学校と九州大学連携して取り組んでいる「産業界と連携した高品質組込みソフトウェア技術者養成プロジェクト」の成果報告会。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル駆動開発 (MDD) 概要・考え方</li> <li>・専門学校での MDD 教育の実践報告</li> <li>・企業における MDD 開発事例の報告</li> <li>・など</li> </ul>

活動名	組込みソフトウェア先端技術講座
実施年月日	平成 23 年 3 月 21, 22, 28, 29 日
実施場所等	IE 研修室
参加対象・ 参加人数等	情報電子工学科教員(山田, 百田, 義永, 奥本, 守川, 重村, 新田, 高山, 杉村, 柳澤, 古賀, 力)
具体的内容 (概略)	<p>本校が九州大学と連携して行っている「高専-大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業において、モデルベース設計を中心とした同技術分野の先端技術に関する教員向け講座を開き、講義・演習・議論を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) モデルベース駆動設計技術に関する講義・演習</li> <li>(2) 組込みソフトウェア活用に関する事例紹介</li> <li>(3) 他の教育機関における実施例の紹介</li> </ol>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 古賀 崇了

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	独立行政法人国立高等専門学校機構 新任教員研修会
関連部署	
実施年月日	平成22年8月23日～平成22年8月25日
実施場所等	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
参加対象・参加人数等	各高等専門学校の新任教員 200名程度
具体的内容（概略）	高専教育に関する講演を聴講すると共に、新任教員とのグループディスカッションを通じて効果的な学生指導のあり方について検討を行った。

活動名・研修会名など	組込みシステムキーテクノロジーセミナー
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成22年10月12日
実施場所等	セントコア山口（山口市）
参加対象・参加人数等	大学・企業等で組み込みシステムの設計開発に携わる技術者等 50名
具体的内容（概略）	組み込みシステムの設計開発に関する現状と課題についての講演を聴講した。

活動名・研修会名など	モデルベース開発セミナー
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成22年11月16日
実施場所等	Mathworks 名古屋支社（名古屋市）
参加対象・参加人数等	大学・企業等でモデルベース設計開発に携わる技術者等 10名
具体的内容（概略）	Mathworks 社のソフトウェア MATLAB/Simulink/Stateflow を用いたモデルベース設計開発技法およびテスト技法に関する講義と演習を受講した。



活動名・ 研修会名など	モデルベース開発セミナー
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成 22 年 12 月 21 日～平成 22 年 12 月 22 日
実施場所等	Mathworks 本社（東京都港区）
参加対象・ 参加人数等	大学・企業等でモデルベース設計開発に携わる技術者等 10 名
具体的内容 (概略)	Mathworks 社のソフトウェア MATLAB/Simulink/Stateflow を用いたモデルベース設計開発技法およびテスト技法に関する講義と演習を受講した。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 力 規晃

平成22年度に実施、あるいは参加された FD 活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	組込みソフトウェア先端技術講座
関連部署	情報電子工学科
実施年月日	平成23年3月21日
実施場所等	IE 研修室
参加対象・ 参加人数等	情報電子工学科教員(山田, 百田, 義永, 奥本, 守川, 重村, 新田, 高山, 杉村, 柳澤, 古賀, 力)
具体的内容 (概略)	本校が九州大学と連携して行っている「高専・大学連携による組込みソフトウェア関連技術教育の高度化」事業において、モデルベース設計を中心とした同技術分野の先端技術に関する教員向け講座に参加した。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 大成 博文

平成22年度に実施、あるいは参加された FD 活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	豊橋技術科学大学高専連携共同研究シンポジウム 「高専生の技術力意識と技術者作り連携」
関連部署	徳山高専、豊田高専、岐阜高専、大分高専、高知高専、豊橋技術科学大学
実施年月日	2011年3月25日
実施場所等	豊橋技術科学大学 A2-301 室
参加対象・ 参加人数等	高専・技術科学大学教員 20名
具体的内容 (概略)	基調報告「技術力調査の目的、教育目標、今日的課題」 研究報告「新しい高専教育の課題と技術科学大学連携」 の2つの講演発表を行い、討議に参加した。 他の研究報告は、以下の通りである。 伊東孝（豊田高専）「高専生の技術力意識調査の結果」 和田清（岐阜高専）「オープン CAE を利用した高専間連携、高専・技科大連携による人材育成」 秦隆志（高知高専）「高専専攻科生の成長過程・事例報告」 亀野辰三（大分高専）「グローバル人材育成のための専門学科間国際交流の試みー大分高専の事例ー」

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 佐賀 孝徳

平成21年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	高専機構高専教員研修（管理職研修）
関連部署	
実施年月日	平成22年9月29日～10月1日
実施場所等	独立法人教員研修センター（つくば市）
参加対象・参加人数等	各高等専門学校での管理運営、教育研究活動において中核的役割を担う教員・52名程度
具体的内容（概略）	<p>3日間にわたって、次の講義が実施された。</p> <p>1) 学校のリスクマネジメント（PRRMコンサルティンググループ 井原正俊）          平常時から全員が危機管理の「気づく心」「話し、聞く心」「守る心」が鍵であること、平常時の危機を防止するには、「7つの行動指針（以下記述）」が重要で、「管理マター」ではなく、全教職員の普段の仕事であり、日常生活の全てに必須と心得ることが強調された。①絶対はない②異常センサーを働かす③リスクを「芽」（ヒヤリ・ハット）の段階で潰す④「コンプライアンス意識」を持って仕事を⑤「風通しの良い職場づくり」を全校に徹底⑥「喉元過ぎれば熱さ忘れる」を再認識⑦「誇り」を持って、「驕り」は持たない。</p> <p>2) 学校経営について（高専機構顧問、北海道情報大学学長 長谷川 淳）          ①優れた人材育成、②教職員の資質・能力、③地域貢献・産学連携④効果的資金配分について大学の取り組み事例を紹介しながら述べられた。大学・高専経営において最も重視すべき視点は「優れた人材育成」であり、そのための学生の教育、支援が述べられると同時に、優れた入学者の確保、出口管理、eラーニングの効果などにも言及された。</p> <p>3) 青年の心理と学生理解（早稲田大学教授 河村茂雄）          学校教育には2つの柱（学習指導、生徒指導）があり、現場では両者を統合し学生の教育課題・発達課題に対処する必要がある。現代の日本の学校教育のマイナス面として、良好な学級集団ができにくくなっている。青年達の発達の問題として、自我の脆弱さ、超自我の脆弱さについて事例を示し説明された。そのような学生への支援指針として、3段階が示された。学級集団の理解にQ-Uアンケートの活用が効果的であること。その分布の特徴とその際の教員の指導方法が述べられた。</p> <p>4) 高専における学校経営を考える（兵庫教育大学教授 浅野良一）          参加者全員が事前に学校のプロフィール、学校教育目標、進路状況、自校における現状と課題、取り組み事例他のレポートを提出し、講師の①学校経営の着眼点②学校の経営ビジョンづくり③学校における組織づくり④学校改善とミドルマネージャーの役割⑤学校の組織文化を考える（A4,40p 資料）の講義の後、グループ別に、4分析方法を用いてマーケティング戦略の展開の演習も含めて2日間にわたり行われた。</p>

	<p><b>5) 学校経営とスクール・コンプライアンス（日本女子大学教授 坂田仰）</b>  教育現場での判断が、裁判所で裁かれる矛盾の指摘。他山の石としての教育裁判。モンスター・ペアレント（サービス産業として学校を捉える「自覚なき保護者」）モンスター・レジデント（迷惑施設、校外施設としての学校、地域にとって善き存在の学校の否定）モンスター・ティーチャー（教員としての矜持はどこに？）。教育裁判が1990年から急増しているのは、1989年の子どもの権利条約以降であり、前述のモンスターに関わる内容が主である。それ以前の学校・教員への無条件の信頼関係から権利・義務の関係に変化してきている。そのほか学校経営に関わる判例（①労務管理、②カリキュラム・施設管理・予算管理、③生徒指導）が説明された。  内容も時間的にも非常に有意義な研修であった。  ■ 資料：有</p>
--	---

活動名・研修会名など	H22徳山地区高等学校等生徒指導連絡協議会 第1回生徒指導主任専門会議
関連部署	学生主事室
実施年月日	H22年5月21日（金） 13時30分～
実施場所等	県立光丘高等学校 会議室
参加対象・参加人数等	徳山地区高等学校の生徒指導主任等 計23人
具体的内容（概略）	1 会長あいさつ 光丘高校校長 田中博文 暴力団の巧妙さ（覚醒剤）、規範意識の低下、社会人になる上で学習すべき事 2 出席者自己紹介 23名自己紹介 3 連絡事項 3点あり、高専には関係ない事柄（JR業務証明書交付承認願、会費納入、校外巡視報告書） 4 協議事項 （1）H21年度事業報告 承認 別紙 （2）H21年度決算報告 承認 別紙 （3）H22年度事業計画（案）承認 別紙（総会1、研修会1、専門会議3、校外巡視） （4）H22年度予算（案）承認 別紙 （5）総会の開催について 別紙案内有（6月24日（木）13時～周南総合スポセン） （6）研究協議 生徒指導についての情報交換などが行われた。

活動名・研修会名など	H22年度南市中周高生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	H22年6月25日（金） 14時00分～
実施場所等	徳山商工高等学校 会議室
参加対象・参加人数等	周南市内の16中学校17人・9高等学校9人生徒指導担当教員 高専1人 計27人

具体的内容 (概略)	<p>(1) 中・高の現状について 各中学、高校より報告があった。</p> <p>(2) 各校からの提出議題について 各校からの提出議題について情報交換が行われた。</p> <p>(3) その他 中高生徒指導連絡協議会の当番校について</p> <p>(4) 閉会行事</p>
---------------	---

活動名・ 研修会名など	平成 22 年度第 2 回徳山地区 8 高等学校生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	H 2 2 年 1 1 月 5 日 (金) 1 4 時 0 0 分～
実施場所等	徳山商工高等学校 会議室
参加対象・ 参加人数等	南陽工業高等学校、徳山北高等学校、桜ヶ丘高等学校、徳山高等学校、徳山高等学校鹿野分校、新南陽高等学校、徳山工業高等専門学校、熊毛北高等学校、徳山商工高等学校生徒指導担当教員、周南警察署少年係長
具体的内容 (概略)	<p>1. 開会挨拶 山口県立徳山商工高等学村中一雄校長より開会のご挨拶があった。</p> <p>2. 協議事項 生徒指導のいろいろな問題について情報交換が行われた。</p> <p>3. 閉会行事 山口県立徳山商工高等学村中一雄校長より会議のまとめと開会の挨拶があった。</p>

活動名・ 研修会名など	山口県内大学・高専 厚生補導連絡会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成 22 年 11 月 26 日 (金) 13 : 30～
実施場所等	下関短期大学 図書館研修室
参加対象・ 参加人数等	山口大学、水産大学校、山口県立大学、下関市立大学、梅光学院大学、東亜大学、山口東京理科大学、山口福祉文化大学、宇部フロンティア大学、同短期大学部、岩国短期大学、山口学芸大学・山口芸術短期大学、山口短期大学、下関短期大学、宇部高専、大島高専、徳山高専・30 名程度
具体的内容 (概略)	<p>下記の項目について各大学高専から議題が出され、それぞれ回答を事前に作成し、当日議論がなされた。以下議題を列举する。</p> <p>1. クラブ・サークル (同好会) 活動に対する支援について</p> <p>2. 台風・大雪等に伴う休講措置について</p> <p>3. 個人カルテの導入、計画について</p> <p>4. 外部からのボランティア依頼の対応について</p> <p>5. 地域からの学生に対してのクレームの対応について</p> <p>6. 学内の施設、設備、備品の管理のあり方について</p>

	<p>7. 昼食時の教室解放について</p> <p>8. 4年生大学の卒業式及び同窓会について</p> <p>9. 消費生活に関するもの、薬物や酒、煙草等の依存に関するもの、性や健康に関するものなど学生生活支援に関する講座や講演の開催状況</p> <p>10. 授業中の携帯電話の取り扱いについて</p> <p>11. 防犯ボランティア支援事業参加について</p> <p>12. 麻疹の抗体検査受診における指導のあり方について</p> <p>13. 学生相談体制について（特に留学生に対してのサポート体制や生活・心身・学業などの相談体制）</p> <p>14. 学生の懲罰に関する規則及び処分に至るまでの手続きについて</p> <p>*上記内容は別紙資料に有り</p> <p>*その他、次回は徳山大学が当番校であり、国体の関係で、7月前半に行いたい旨報告があった。</p>
--	--

活動名・研修会名など	愛育会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年3月2日（水） 14:00～
実施場所等	徳山商工高等学校 会議室
参加対象・参加人数等	周南市内の小学校・中学校・高等学校のPTA会長、校長、生徒指導担当教員
具体的内容（概略）	生徒指導に関する関係機関による現状報告や情報交換が行われた。また生徒指導に関するグループ別討議が行われ、最後にグループ別討議の報告が行われた。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 田村 隆弘

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	コンクリート診断士講習会
関連部署	
実施年月日	平成22年10月19日
実施場所等	広島市
参加対象・ 参加人数等	コンクリート診断士・80名
具体的内容 (概略)	コンクリート診断士資格取得者に、コンクリート構造物のひび割れ問題について講演を行った。

活動名・ 研修会名など	横浜国大「第6回 コンクリート材料－構造の最先端技術に関する研究会」
関連部署	
実施年月日	平成22年12月21日
実施場所等	横浜国大
参加対象・ 参加人数等	コンクリートに関連した研究者、技術者：150名
具体的内容 (概略)	山口県で取り組んでいる「コンクリートひび割れ抑制対策システム」について、講演した。



活動名・ 研修会名など	日本コンクリート工学会中国支部講習会
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 11 月 5 日
実施場所等	岡山市
参加対象・ 参加人数等	コンクリート工事に関わる技術者、研究者：110 名
具体的内容 (概略)	コンクリート工事の品質確保とひび割れ問題について講演した。

活動名・ 研修会名など	環境・エネルギーフォーラム
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 11 月 28 日
実施場所等	徳山高専
参加対象・ 参加人数等	長岡技大学長、本校教員、他高専教員
具体的内容 (概略)	「技術立国日本の一翼を担って『技科大と高専の連携を考える』」と題して、講演を行った。

活動名・ 研修会名など	山口県技術士会平成 22 年度総会
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 6 月 6 日
実施場所等	山口市
参加対象・ 参加人数等	山口県技術士会会員：80 名
具体的内容 (概略)	「『コンクリートから人へ』の時代の技術士」と題して講演を行った。

活動名・ 研修会名など	周南市水道局技術講習会
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 10 月 4 日
実施場所等	周南市水道局
参加対象・ 参加人数等	周南市職員、建設技術者：40 名
具体的内容 (概略)	「コンクリート工事の施工管理とひび割れについて」と題して講演を行った。

活動名・ 研修会名など	テクノアカデミア出前授業
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 6 月 29 日、7 月 30 日、8 月 21 日、9 月 25 日
実施場所等	勝井建設
参加対象・ 参加人数等	勝井建設他、岩国市周辺建設会社技術者：延べ 120 名
具体的内容 (概略)	第 1 回「鉄筋コンクリ構造物の設計の基礎」、第 2 回「鉄筋コンクリート構造物の実用的問題」、第 3 回「鉄筋コンクリート構造物の品質確保」、第 4 回「プレストレストコンクリート構造・他」と題して講義を行った。

活動名・ 研修会名など	八戸工業大学第 6 回 LCA フォーラム
関連部署	
実施年月日	平成 22 年 11 月 12 日
実施場所等	八戸市
参加対象・ 参加人数等	青森県職員他、建設技術者：100 名
具体的内容 (概略)	「コンクリート構造物のひび割れ抑制対策」と題して講演を行った。

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 熊野 稔

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	徳山高専テクノアカデミア2級建築士製図受験講座企画・講師（専攻科生等参加）
関連部署	地域連携推進室
実施年月日	H22・8. 20、21、28
実施場所等	熊野研究室
参加対象・参加人数等	テクノアカデミア会員、本校専攻科生、本校学生、市民（有料）、本校専攻科生4名
具体的内容（概略）	22年度の2級建築士製図受験講座を企画し、講師を務めた。 修了要件となる資格取得において、受講した専攻科生が2名合格した。

活動名・研修会名など	豊橋技科大学・高専連携教育研究プロジェクト 採択実施
関連部署	地域連携推進室
実施年月日	22年度
実施場所等	熊野研究室
参加対象・参加人数等	豊橋技科大浅野准教授、熊野研究室
具体的内容（概略）	「成熟社会下の地方都市における郊外土地利用マネジメント手法の検証；山口県における市街化調整区域の土地利用マネジメントに関する動向と評価（市街化調整区域における開発許可・建築許可条例を中心に）」 をテーマに大学と連携して特別研究教育で取り組んだ。その成果は専攻科生が学会発表を行った。

活動名・ 研修会名など	山口県建設技術センター平成 22 年度専門 能力研修 建設環境課程講演
関連部署	
実施年月日	H22.10.20
実施場所等	山口県セミナーパーク
参加対象・ 参加人数等	山口県職員、山口県市町村職員
具体的内容 (概略)	「公共建設工事における良好な景観形成について」が演題であり、教材開発や都市計画の授業と関連してFDと考えられる。

活動名・ 研修会名など	22 年度周南まちづくりコンテスト審査員
関連部署	総合企画室
実施年月日	22 年度 4/27 打ち合わせ、10/8 最終審査会、11/6 発表会シンポ(勤務時間外)
実施場所等	徳山大学
参加対象・ 参加人数等	一般市民、学生
具体的内容 (概略)	徳山大学主催、徳山高専、周南市共催の事業で企画普及、学生へのアドバイス、審査員を勤める。徳山高専の学生が学生部門と高校生部門で最優秀賞を受賞した。都市計画や都市環境計画の教育と関連し、創造教育の一環としてFDに関連する。

活動名・ 研修会名など	22 年度日本建築学会中国支部研究報告会
関連部署	総務課 専攻科
実施年月日	H23 .3・5.6
実施場所等	徳山高専、 徳山大学
参加対象・ 参加人数等	日本建築学会正会員、学生会員、一般 400 名

具体的内容 (概略)	徳山高専が初めて幹事校となって主催する 22 年度日本建築学会中国支部研究発表会の実行委員長及びシンポジウムの企画とコーディネーターを果たした。環境建設専攻科生の多くが研究発表をするとともに、学科の教員と学生が一丸となって運営に取り組み成功を収めた。
---------------	---

活動名・ 研修会名など	建築法規の教材開発
関連部署	
実施年月日	22 年度
実施場所等	熊野研究室
参加対象・ 参加人数等	日本建築学会建築法制委員会教育普及小員会
具体的内容 (概略)	建築法規用教材、2011 年版を共著で作成し教科書に採用した。

## 平成 22 年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 渡辺 勝利

平成 21 年度に実施、あるいは参加された FD 活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	独立行政法人大学評価・授与機構
関連部署	学習教育レビュー室
実施年月日	平成 22 年 8 月 2 日
実施場所等	一ツ橋記念堂（学術総合センター2 階）
参加対象・ 参加人数等	学長，理事，副学長など大学運営の直接の関係者および評価室や IR などの評価や FD 活動等え尾直接担当する責任者
具体的内容 （概略）	<p>「学習成果を軸とした質保障システムの確立：学習成果の効果的なアセスメント・可視化・発信とは」をテーマに学習成果を軸とした PDCA サイクルをいかに効果的に機能させ、質保証システムを確立していくかについて、米国の高等教育機関で導入されている学習成果を軸としたシステムの枠組みだけでなく、学習成果のアセスメントや可視化の手法も具体的に見ながら、日本に適したシステムとは何かについて、米国機関，日本の大学，民間組織からの基調講演がなされ，それらを踏まえて議論がなされた。</p> <p>■ 資料：有</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 海田 辰将

平成21年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	徳山地区高等学校等生徒指導連絡協議会
関連部署	学生主事室
実施年月日	平成23年2月18日（金）14:00-16:30
実施場所等	県立光丘高等学校 会議室
参加対象・ 参加人数等	徳山地区の各高等学校における生徒指導担当教諭ら30名程度
具体的内容 （概略）	徳山地区の各高校におけるH22年度の生徒指導上の問題点および解決事例等の紹介を通じて情報交換を行った。また周南警察署生活安全課の方より県内における未成年犯罪の最近の傾向・分析および対策等の講習が行われた。  ■ 資料：有

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	技能の伝承（機械組み立て仕上げ作業）受講
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年7月10日～11日
実施場所等	山口県東部高等産業技術学校
参加対象・ 参加人数等	技能検定機械組み立て作業2級の受験者20人
具体的内容 （概略）	<p>2日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①仕上げ作業の基本と実習<ul style="list-style-type: none"><li>・ヤスリがけによる平面、直角、平行仕上げ</li><li>・ヤスリがけによる寸法の出し方</li><li>・きさげのかけ方とその効果</li></ul></li><li>②ボール盤による穴あけとタップ立て実習</li><li>③総合実習</li></ul> <p>この講習を受講して、ヤスリがけなど「手仕上げ」についての知識が深まった。今後のものづくりに大変役立つ内容であった。</p>



## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	中国地区技術職員研修
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年8月19～20日
実施場所等	松江工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	中国地区高等専門学校 技術職員 26名
具体的内容 (概略)	<p>「地域貢献」をテーマとし、次の3つの項目についての研修を行った。</p> <p>①事例発表会(各高専より代表者1名) 「徳山高専夢広場における地域貢献」についての発表を行った。 また、各高専技術職員の「地域貢献」に対する取り組みについて発表があった。</p> <p>②科学研究費補助金(奨励研究)についての講話 (松江高専 福田技術専門員, 川見技術専門職員) 技術職員として科研費を申請する意義、申請書作成における注意事項、 また、採択に向けての取り組みについてなどについての講話があった。</p> <p>③地域貢献に対する組織体制の現状報告についての全体討議(全参加者) 組織として地域貢献に取り組む際の体制などについて、各高専の現状報告・ 質疑応答を行った。</p> <p>各高専で行っている地域貢献の取り組みについて、事例発表と全体討議を通して話し合い、松江高専の地元企業への人材育成など他にはない事例を聞くことができた。また、講話にて技術職員の科研費についての考え方、申請への流れを知ることができた。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 藤本 竜也

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	中国地区技術職員研修
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年8月19～20日
実施場所等	松江工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	中国地区高等専門学校技術職員 26名
具体的内容 (概略)	<p>「地域貢献」を主テーマとして、次の3つの研修が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域貢献事例発表（各高専より代表者1名） 各高専の技術職員組織における地域貢献活動への取り組みや、その事例について発表があった。</li> <li>2. 科学研究費補助金（奨励研究）に関する講話 (松江高専 福田技術専門員, 川見技術専門職員) はじめに、福田技術専門員より、技術職員が奨励研究に申請することの意義や、松江高専の申請・採択の状況などについての講話を受けた。 その後、川見技術専門職員より、申請書作成時の注意事項や心構え、また松江高専での奨励研究のサポート体制などについての講話があった。</li> <li>3. 全体討議（全参加者） 技術職員組織として地域貢献活動へ取り組む際の体制について各高専から説明があった後、それぞれの問題点や疑問点について議論を行った。</li> </ol> <p>他高専の技術職員組織の状況や体制や、科学研究費補助金（奨励研究）に関するポイントなどを学ぶことができ、大変有意義な研修であった。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 林 嘉 雄

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	平成22年度 西日本地域高専技術職員特別研修会（情報系）
関連部署	
実施年月日	平成22年8月25日（水）～平成22年8月27日（金）
実施場所等	豊橋技術科学大学 総合研究実験棟9階 セミナー室
参加対象・参加人数等	西日本地域の高専専門学校 技術職員（参加人数：29名）
具体的内容 （概略）	<p>3日間にわたって、次の講演・講義等が実施された。</p> <p>①特別講演 ・「豊橋技術科学大学・大学院の再編とキャンパス情報基盤システム整備」豊橋技術科学大学 理事・副学長 稲垣康善 ・「多くの人との出会い、教えを→学び育つために→問う」大島商船高等専門学校 校長 久保雅義</p> <p>②講義 ・「意味の世界に迫るテキストマイニングの拓く未来」豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 増山繁 ・「高専機構・情報基盤委員会の紹介と第2・第3のインターネット革命で変わる近未来の高専教育について」高知工業高等専門学校 電気情報工学科 教授 今井一雅</p> <p>③技術課題の発表及び討議 「ソフトウェアライセンス管理システムの運用について」と題して発表し、システムについての評価や今後の運用方針についての討議を行った。また、各高専の発表を聴講し、質疑等を行ったことで、日常業務で有益な情報を共有することができた。その中でも、携帯情報端末とキャンパス無線 LAN を利用した ICT 活用教育や、シンクライアントを導入した高専の情報が今後役に立つ内容であった。</p> <p>今回、この研修会に参加して他高専との情報交換が行えたことで、日常業務においての問題解決策や運用方法などの情報を共有することができ、とても有益な場であった。</p> <p>■資料：有</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 山本 孝子

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	2010年度オムロン制御技術セミナー（基礎コース）
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年9月2～3日
実施場所等	オムロン株式会社（ゲートシティ大崎）
参加対象・参加人数等	高等専門学校の教員および技術職員 14名
具体的内容 （概略）	<p>オムロン株式会社より寄贈された学習機材を用いて、2日間の日程でシーケンス制御を始めとするFA(Factory Automation)の基礎についての研修を受けた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制御装置の説明・演習（1日目） 寄贈された学習機材を中心に、FAで使用される代表的な装置・部品の説明を受けた。その後、学習機材とそれらの部品を使用した演習を行ない、シーケンス制御の中の特にリレーシーケンスとよばれる制御技術の基本を学んだ。</li> <li>2. 温度制御の説明・演習[PID制御]（1日目） 温度調節器の使用方法の説明など、温度制御に関する講義を受けた。また、演習を通じて、ON/OFF制御では、リレーの接点寿命が短くなるため、動作間隔が長く設定され、なだらかな制御ができないことが理解できた。一方、PID（P(比例)、I(積分)、D(微分))制御を用いた温度制御では、なだらかな制御が行われていることが確認でき、感動した。</li> <li>3. PLC概要説明・演習（2日目） 近年、シーケンス制御において広く用いられているPLC(Programmable Logic Controller)についての講義を受け、制御用のプログラムの作成・実行を行った。その内容は、駐車場における空車・満車の点灯表示とエスカレータにおける自動制御の演習であった。このプログラミング演習により、シーケンス制御における基本技術を身につけることができた。</li> </ol> <p>本研修を通じて、学んだ制御技術を教育現場に還元したいと考えている。特に、これまで関わってきた本校の創造演習（モノづくり授業）などにおいて、寄贈機材のシーケンス制御を活用することで、モノづくりの幅が広がることの可能性を実感している。</p> <p>この貴重な制御技術のセミナーに参加させて頂いたことに感謝申し上げたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 藤本 竜也

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	2010年度オムロン制御技術セミナー（基礎コース）
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年9月2～3日
実施場所等	オムロン株式会社（ゲートシティ大崎）
参加対象・参加人数等	高等専門学校の教員および技術職員 14名
具体的内容 （概略）	<p>オムロン株式会社より寄贈を受けた学習機材を用いて、2日間の日程でシーケンス制御を始めとするFA(Factory Automation)の基礎についての研修を受けた。</p> <p>4. 制御装置についての説明・演習（1日目） 寄贈を受けた学習機材を中心に、FAで使用される代表的な装置・部品の説明を受けた。その後、学習機材とそれらの部品を使用した演習を行ない、シーケンス制御のうちリレーシーケンスとよばれる制御技術の基本を学んだ。</p> <p>5. 温度制御の説明・演習[PID制御]（1日目） 温度調節器の使用方法的説明など、温度制御の使用についての講義を受けた。また、演習を通じてフィードバック制御の1つであるPID制御の一端に触れた。</p> <p>6. PLC概要説明・演習（2日目） 近年、シーケンス制御において広く用いられているPLC(Programmable Logic Controller)についての講義を受けた。その後、制御用のプログラムの作成・実行を行い、PLCを用いたシーケンス制御に対する基本技術を身につけることができた。</p> <p>研修を通じて、シーケンス制御で用いられているリレーシーケンスやPLCについての基礎知識を得ることができ、大変有意義な研修であった。オムロン株式会社より今回の研修で使用した学習機材の寄贈を受けているとのことであり、学生指導等の中で活用できないか検討してみたいと思う。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 中村 金良

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	NCトレーニングスクール（マシニングセンタ専門コース）受講
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年9月6日～9日
実施場所等	オークマ株式会社
参加対象・ 参加人数等	オークマ工作機械ユーザー 4名
具体的内容 （概略）	<p>4日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①プログラミングの説明 領域加工、真円サイクルのプログラム、インクレを使用したサブプログラム、ユーザータスク（分岐、変数、関数）自動計測、システム変数についての講義を受けた。</p> <p>②機械操作実習 マクロプログラム操作、プログラム編集操作、自動計測操作、計測応用操作について実機を使用して実習を行った。</p> <p>工作実習や製作依頼にて使用しているマシニングセンタのプログラミングや操作についての理解を深めることができた。また、空き時間に工場見学を行っていただき、工作機械への知識がより深まった。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 石川 善丈

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	NCトレーニングスクール（マシニングセンタ専門コース）受講
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年9月6日～9日
実施場所等	オークマ株式会社
参加対象・参加人数等	オークマ工作機械ユーザー 4名
具体的内容（概略）	<p>4日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①プログラミングの説明 領域加工、真円サイクルのプログラム、インクレを使用したサブプログラム、ユーザータスク（分岐、変数、関数）自動計測、システム変数についての講義を受けた。</p> <p>②機械操作実習 マクロプログラム操作、プログラム編集操作、自動計測操作、計測応用操作について実機を使用して実習を行った。</p> <p>工作実習や製作依頼にて使用しているマシニングセンタのプログラミングや操作についての理解を深めることができた。また、空き時間に工場見学を行っていただき、工作機械への知識がより深まった。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・ 研修会名など	NCトレーニングスクール（マシニングセンタ専門コース）受講
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成22年9月6日～9日
実施場所等	オークマ株式会社
参加対象・ 参加人数等	オークマ工作機械ユーザー 4名
具体的内容 （概略）	<p>4日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①プログラミングの説明 領域加工、真円サイクルのプログラム、インクレを使用したサブプログラム、ユーザータスク（分岐、変数、関数）自動計測、システム変数についての講義を受けた。</p> <p>②機械操作実習 マクロプログラム操作、プログラム編集操作、自動計測操作、計測応用操作について実機を使用して実習を行った。</p> <p>工作実習や製作依頼にて使用しているマシニングセンタのプログラミングや操作についての理解を深めることができた。また、空き時間に工場見学を行っていただき、工作機械への知識がより深まった。</p>



## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 石川 善丈

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	油圧技術研修
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年2月8日
実施場所等	周南地域地場産業振興センター
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 2名（石川、井本）
具体的内容 （概略）	<p>次の項目についての研修が行われた。</p> <p>①油圧の基礎 油圧装置における特徴や、ポンプ・タンクなどの構成要素についての説明があった。</p> <p>②油圧基本回路 油圧装置における基本的な回路（安全回路、減速回路等）についての説明があった。</p> <p>③関連法規 油圧装置に関連する消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法についての説明があった。</p> <p>④メンテナンス 油圧装置のメンテナンス方法について説明があった。</p> <p>本校の実習工場には、シャーやマシニングセンタなど油圧装置が付いているものがいくつかあるが、油圧についての知識はほとんどなかった。今回の研修にて油圧の仕組みや関連法規、メンテナンス方法がわかり、これからの学生指導や機器の保守管理に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	油圧技術研修
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年2月8日
実施場所等	周南地域地場産業振興センター
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 2名（石川、井本）
具体的内容 （概略）	<p>次の項目についての研修が行われた。</p> <p>①油圧の基礎 油圧装置における特徴や、ポンプ・タンクなどの構成要素についての説明があった。</p> <p>②油圧基本回路 油圧装置における基本的な回路（安全回路、減速回路等）についての説明があった。</p> <p>③関連法規 油圧装置に関連する消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法についての説明があった。</p> <p>④メンテナンス 油圧装置のメンテナンス方法について説明があった。</p> <p>本校の実習工場には、シャーやマシニングセンタなど油圧装置が付いているものがいくつかあるが、油圧についての知識はほとんどなかった。今回の研修にて油圧の仕組みや関連法規、メンテナンス方法がわかり、これからの学生指導や機器の保守管理に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 中村 金良

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	マスターキャム講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年2月14日～17日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 3名（中村、石川、井本）
具体的内容 （概略）	<p>3日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①マスターキャムの基本的な操作方法 マスターキャムによる簡単な作図方法、平面の取り方、3軸のツールパスの作成方法についての講習を受けた。</p> <p>②同時5軸加工のツールパス作成方法 マスターキャムを使用しての同時5軸加工の作成方法について実際の加工例を交えながらの講習を受けた。</p> <p>同時5軸加工をすることにより5軸マシニングセンタを有効活用し、加工の難しいインペラーやポート加工が行えるようになる。今回の講習を、今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 石川 善丈

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	マスターキャム講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年2月14日～17日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 3名（中村、石川、井本）
具体的内容 （概略）	<p>3日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①マスターキャムの基本的な操作方法 マスターキャムによる簡単な作図方法、平面の取り方、3軸のツールパスの作成方法についての講習を受けた。</p> <p>②同時5軸加工のツールパス作成方法 マスターキャムを使用しての同時5軸加工の作成方法について実際の加工例を交えながらの講習を受けた。</p> <p>同時5軸加工をすることにより5軸マシニングセンタを有効活用し、加工の難しいインペラーやポート加工が行えるようになる。今回の講習を、今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	マスターキャム講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年2月14日～17日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 3名（中村、石川、井本）
具体的内容（概略）	<p>3日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①マスターキャムの基本的な操作方法 マスターキャムによる簡単な作図方法、平面の取り方、3軸のツールパスの作成方法についての講習を受けた。</p> <p>②同時5軸加工のツールパス作成方法 マスターキャムを使用しての同時5軸加工の作成方法について実際の加工例を交えながらの講習を受けた。</p> <p>同時5軸加工をすることにより5軸マシニングセンタを有効活用し、加工の難しいインペラーやポート加工が行えるようになる。今回の講習を、今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 西山 芳明

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	溶接講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月8日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 4名（中村、石川、井本、西山）
具体的内容（概略）	<p>次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①溶接の基礎 主に TIG,MIG 溶接についての原理、機器構成、作業法等の基礎についての座学を受けた。</p> <p>②溶接の実習 座学を踏まえ、実機を使用して TIG,MIG 溶接の実習を受けた。良い溶接をするための注意点、条件設定についてのノウハウも教わった。</p> <p>今回の講習を、今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 石川 善丈

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	溶接講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月8日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 4名（中村、石川、井本、西山）
具体的内容（概略）	<p>次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①溶接の基礎 主に TIG,MIG 溶接についての原理、機器構成、作業法等の基礎についての座学を受けた。</p> <p>②溶接の実習 座学を踏まえ、実機を使用して TIG,MIG 溶接の実習を受けた。良い溶接をするための注意点、条件設定についてのノウハウも教わった。</p> <p>今回の講習を、今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	溶接講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月8日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 4名（中村、石川、井本、西山）
具体的内容（概略）	<p>次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①溶接の基礎 主に TIG,MIG 溶接についての原理、機器構成、作業法等の基礎についての座学を受けた。</p> <p>②溶接の実習 座学を踏まえ、実機を使用して TIG,MIG 溶接の実習を受けた。良い溶接をするための注意点、条件設定についてのノウハウも教わった。</p> <p>今回の講習を、今後の実習や製作依頼等に生かしていきたい。</p>



## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 林 嘉 雄

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	第6回情報技術研究会
関連部署	
実施年月日	平成23年3月15日（火）～平成23年3月16日（水）
実施場所等	九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）
参加対象・参加人数等	大学、高等専門学校、研究機関等の技術職員
具体的内容（概略）	<p>2日間にわたって、次の講演・講義等が実施された。</p> <p>① 術課題の発表及び討議 「Webを用いたメーリングリスト管理システムの運用について」と題して発表し、システムについての評価や運用についての討議を行った。また、他の大学や高専の発表を聴講し質疑等を行ったことで、日常業務で有益な情報を共有することができた。</p> <p>② 特別講演 演題：「ものづくりの基盤としての金型と情報技術」 講演者：是澤 宏之 （九州工業大学大学院情報工学研究院 機械情報工学研究系 助教）</p> <p>③ 学内施設見学会 ・金型センター ・サイエンスギャラリー ・3Dプロジェクト</p> <p>今回、この研究会に発表参加して大学・他高専の技術職員との情報交換が行えたことで、日常業務においての問題解決策や運用方法などの情報を共有することができ、とても有益な場であった。</p> <p>■資料：有</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 山本 孝子

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	2010年度熊本大学総合技術研究会
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月17～18日
実施場所等	熊本大学
参加対象・参加人数等	全国の大学、高専の技術職員700名
具体的内容 (概略)	<p>1. 発表内容</p> <p>近年、急速に進展しつつある高度情報社会を支える様々な分野では、情報・電子・通信技術に関するこのような幅広い知識とシステム総合の能力を有する技術者が必要とされている。これらの社会的要請を受けて、徳山工業高等専門学校情報電子工学科においては、ソフトウェアとハードウェアを融合したシステム、およびそれらをネットワークで結合した総合システムまでを修得の上、ソフトウェアと種々の電子装置（ハードウェア）の設計能力を養成することを目標として掲げている。</p> <p>具体的には、コンピュータ及びその関連する技術によって構成される電子装置に必要なソフトウェア・ハードウェア両面の技術を並行して学習でき、さらには先端技術も修得できるように教育課程を構成し、実践力のある技術者教育を行っている。</p> <p>上記の教育目標の達成に向けて、ソフトウェア、ハードウェアの両面を学習するための、多くの実験・演習時間が設けている。それらが実現できる環境では、多種多様なアプリケーションの利用が要求される。</p> <p>本研究会では、学生の利便性を考えて、様々なアプリケーションを構築した情報電子工学科の教育システム環境について発表した。</p> <p>2. 参加して</p> <p>本研究会における、全国の大学、高専の方々の発表から、多くのことに挑戦されていることが確認できた。例えば、ポスター発表「自動追尾式太陽光発電システムの開発」では、そのデモも行われていた。内容は、太陽位置によってパネルへの照射角が変わるため、常に最大効率で発電できないことから、センサーを用いて太陽位置を判定し、マイコンでモータを駆動させることで発電効率の向上をねらった装置の開発であった。</p> <p>さらに、バーコードを使った講習会受付などは、導入段階での発表であったが、装置が安価であることで、多くの場面での利用が期待される点で印象的であった。</p> <p>本研究会を通して、視野が広がり、大変意義ある研究会に参加させていただいたことに感謝申し上げたい。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 中村 金良

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	ロボドリル講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月19,21日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 3名（中村、石川、井本、）
具体的内容（概略）	<p>昨年度更新された小型マシニングセンタ「ロボドリル」について、2日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①基本操作の説明 基本操作や本機独自の機能についての説明を受けた。</p> <p>②機械操作実習 プログラム編集、自動計測操作などについて実機を使用して実習を行った。また、これまで使用してきた中での疑問等を質問した。</p> <p>新しくなった小型マシニングセンタについて、基本操作や新機能についての理解を深めることができた。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 石川 善丈

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	ロボドリル講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月19,21日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 3名（中村、石川、井本、）
具体的内容（概略）	<p>昨年度更新された小型マシニングセンタ「ロボドリル」について、2日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①基本操作の説明 基本操作や本機独自の機能についての説明を受けた。</p> <p>②機械操作実習 プログラム編集、自動計測操作などについて実機を使用して実習を行った。また、これまで使用してきた中での疑問等を質問した。</p> <p>新しくなった小型マシニングセンタについて、基本操作や新機能についての理解を深めることができた。</p>

## 平成22年度 FD 活動報告書（個人）

氏名： 井本 琢哉

平成22年度に実施、あるいは参加されたFD活動について記入してください。複数ある場合は表をコピーして記入してください（記入欄の大きさは変更可）。

※所属する部署から派遣された場合は、「関連部署」欄へ部署名を記入してください。

活動名・研修会名など	ロボドリル講習
関連部署	教育研究支援センター
実施年月日	平成23年3月19,21日
実施場所等	徳山工業高等専門学校
参加対象・参加人数等	第一技術室 室員 3名（中村、石川、井本、）
具体的内容（概略）	<p>昨年度更新された小型マシニングセンタ「ロボドリル」について、2日間にわたり次の項目についての講習が行われた。</p> <p>①基本操作の説明 基本操作や本機独自の機能についての説明を受けた。</p> <p>②機械操作実習 プログラム編集、自動計測操作などについて実機を使用して実習を行った。また、これまで使用してきた中での疑問等を質問した。</p> <p>新しくなった小型マシニングセンタについて、基本操作や新機能についての理解を深めることができた。</p>